1. はじめに

WindowsXP SP2 で、XRF ソフトウェア(PCXRF)あるいはMXF ソフトウェア(PCMXF)を動作させるためには、以下 に記載する設定が必要になります。

【WindowsXP SP2 インストールにより発生する問題】

WindowsXP SP2 をインストールされますと、XRF プログラムまたはMXF プログラムにおいて、ヘルプ画面において、次のようなメッセージが表示され一部機能が動作しなくなります。



この問題を解決するためには、インターネットエクスプローラの詳細設定を変更する必要があります。

手順は次のとおりです。

2. インターネットエクスプローラの詳細設定

- 1. インターネットエクスプローラの「ツール」メニューから、「インターネットオプション」を選びます。
- 2. 詳細設定タブを選択し、セキュリティの中の「マイコンピュータのファイルでのアクティブコンテンツの 実行を許可する」 についてチェックを入れ、「OK」をクリックします。

| インターネット オブション ? 🗙 |
|--|
| 全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 |
| 設定(S): |
| ● セキュリティ ■ SSL 20 を使用する ■ SSL 30 を使用する ■ TLS 1.0 を使用する ■ サーバー証明書の取り消しを確認する(再起動が必要) ■ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する ■ フォームの送信がリダイレクトされた場合に警告する ■ ブラウザを問じたたき、「Tomporary Interpret File?] フォリ がち空(にする) |
| □ プランリを閉じたとき、[Temporary Internet Files] フォルタを空にする □ プロファイル アシスタントを使用する □ マイ コンピュータでの、CD のアクティブ コンテンツの実行を許可する □ マイ コンピュータのファイルでのアクティブ コンテンツの実行を許可する □ 暗号化されたページをディスクに(保存しない) □ 署名が無効でもソフトウェアの実行またはインストールを許可する ☑ 統合 Windows 認証を使用する (再起動が必要) ☑ 発行元証明書の取り消しを確認する |
| ■ 保護付き/保護なしのサイト間を移動する場合に警告する ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ |
| OK キャンセル 適用(<u>A</u>) |

以上